

# CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月  
発行日：毎月15日・月末  
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 23 No.12 2021年6月30日

## 製品・サービス動向-国内

### ■オーディオブレインズ:Nureva 社製マイクロホン&スピーカバーの日本国内での取扱いを開始

(PRTIMES: 6月18日)

株式会社オーディオブレインズ (<https://audiobrains.com/>) (神奈川県川崎市) は、カナダに本社を置く Nureva 社製マイクロホン&スピーカバーの日本国内における輸入代理業務を開始する。



左から Dual HDL300、HDL300、HDL200  
(オーディオブレインズ)

Nureva は、Web 会議やオンライン講習に最適なマイクロホン&スピーカバー。部屋のサイズに合わせて、小規模向けの「HDL200」、中規模向けの「HDL300」、大規模・オープンスペース向け「Dual HDL300」の3モデルをラインナップしている。それぞれ黒白の2色を用意している。リモコン付属。

Nureva マイクロホン&スピーカバーは、室内のどこで発音しても、明瞭な音声を集音することができることに特長がある。

従来のビームフォーミング技術では場所により集音できないポイントが残るが、Nureva 独自の「Microphone Mist テクノロジー」により室内全体を

カバーすることができる。

Microphone Mist テクノロジーは、数千の仮想マイクを室内に配置し、プロセッサで発言者の位置やノイズ源を特定、必要な部分に集音を集中させることができるもの。仮想マイク数はカバーできる部屋の大きさに合わせてその数は増える仕組みになっている。



Nureva 社製マイクロホン&スピーカバー設置イメージ  
(オーディオブレインズ)

3モデルのそれぞれの仮想マイク数については、HDL200が最大4,096個(5.5x5.5mまでの空間をカバー)、HDL300は最大8,192個(7.6x7.6mまでの空間をカバー)、Dual HDL300では16,384個(9.1x15.2mまでの空間をカバー)もの仮想マイクを配置、正確な集音を実現している。

また、室内全体をカバーするだけでなく、マスクの着用やアクリルパネルがある場合も集音を最適化し、明瞭な音声を集音する。マイクに背を向けた状態でも集音が可能技術を搭載している。

家具レイアウト変更や参加人数・座席位置が変わった場合でも、ユーザの操作なしで、機器が自動的にキャリブレーションを行い、常にシステムの最適化を行うようになっている。

さらに、Nureva のマイクロホン&スピーカバーは、

全てのシステムにエコーキャンセリング機能が標準搭載されているため、空調やディスプレイ、コンピューターファンなどのノイズソースを自動で削除するようになっている。Nureva 製品 1 システムだけで全てが完結するため、外部のオーディオプロセッサは不要という。

なお、オーディオブレインズでは、パソコンがあればどこからでも参加できる、Nureva のオンラインデモを実施している。対応時間は 10 時～18 時（平日）。平均所要時間は 30 分程度。

オンラインデモ予約（Zoom）は下記 URL から。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdKaURoY4wX2hLFwu5Nx2rDYXbGfsJhICbl7X420gWrUoib0A/viewform?gxids=7628>

## ■ジェイズ・コミュニケーション：Neat 社と日本国内における販売代理店契約を締結、「Microsoft Teams」にも対応予定

（6月28日）

ジェイズ・コミュニケーション株式会社 (<https://jscom.jp/>)（東京都中央区）は、Neatframe Limited（英国・ロンドン、以下、Neat 社）と日本国内における販売代理店契約を締結し、Neat 社が提供するビデオ会議デバイス「Neat シリーズ」の全製品取扱いを 7 月から開始する。

今回の契約締結により、ジェイズ・コミュニケーションは、一般企業、学校におけるデジタルトランスフォーメーションを促進支援する「Neat Bar」「Neat Board」

neat.bar



を含む Neat シリーズ全製品のパートナーを通じた販売が可能になる。オフィスとテレワークを組み合わせた勤務体系が主流になりつつある昨今、Neat シ

リーズはハイブリット勤務環境に最適なビデオ会議デバイス。

Neat Bar（写真左下、ジェイズ・コミュニケーション）は、カメラ・マイク・スピーカー、「Zoom Rooms」機能が一体化され、既存のディスプレイと接続するだけで、Zoom Rooms の利用が可能となっている。

neat.board



Neat Board（写真左、ジェイズ・コミュニケーション）は、65 インチのタッチディスプレイにカメラ、マイク、スピーカー、Zoom Rooms 機能が一体化されたマルチディスプレイ。

これまで Neat シリーズは、Zoom 向けに洗練されたデザイン、機能性を提供してきたが、Neat 社は、マイクロソフト社が提供するコラボレーションツール「Teams」への対応を発表した。対応時期は 2021 年 10 月以降を予定しているという。

## ■コクヨ：自立型テレワークブース「TINY-CUBE」を全国発売

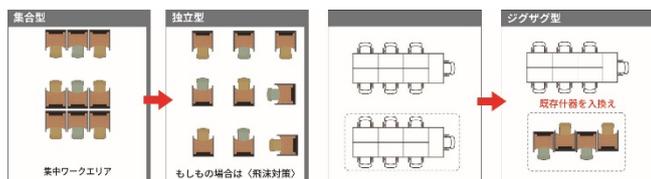
（6月15日）

コクヨ株式会社 (<https://www.kokuyo.co.jp/>)（大阪府大阪市）は、オフィスに簡単に設置できるテレワークブース「TINY-CUBE（タイニーキューブ）」を 6 月下旬より全国発売する。



TINY-CUBE（コクヨ）

タイニーキューブは、オフィスに簡単に設置することができる一人用のワークブース。業務に集中できるよう前方と左右が囲われており、机上コンセントやタブレットスタンドなど、Web会議に対応した機能も充実している。



レイアウト変更も自由自在（コクヨ）

オフィスのちょっとしたスペースにも導入しやすい、ミニマムなサイズで、低床キャスター付きでニーズの変化によるレイアウト変更にも自在に対応する。

また、SIAA（抗菌製品技術協議会）の定める基準に達した抗菌・抗ウイルスの天板を選択可能となっている。ワーカーに衛生面でも安心した使用していただけている。

サイズは、W820mm x D835mm x H1290mm。メーカー希望小売価格（消費税抜）は、スタンダードメラミン仕様が 138,000 円、抗ウイルスメラミン仕様が 144,000 円。

## 製品・サービス動向-海外

### ■シスコシステムズ社：ハイブリット時代に対応した Webex Suite を発表、会議から、通話、メッセージング、投票、イベントまでを包括的に提供

(6月8日)

シスコシステムズ社 ([https://www.cisco.com/c/ja\\_jp/index.html](https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html)) (米国・カリフォルニア州) は、ハイブリットな働き方とイベントに包括的に対応した「Webex Suite (ウェベックススイート)」を発表した。

Webex Suite は、会議から、通話、メッセージング、

投票（アンケート）、イベントまでを包括的に提供するプラットフォーム。それぞれのサービスを個別に提供するよりも、Webex Suite を導入することで最大40%コスト削減を実現しているという。また、合わせて新しい Webex のロゴも発表された。

しかし、コスト削減だけがこの Webex Suite の狙いではない。この Webex Suite には、ハイブリットイベントの次の時代に必要なイベント実行・管理プラットフォームも含まれる。これは、シスコによる Socio 社の買収が完了すると、業界初のエンドツーエンドのイベント体験の全機能が利用できるようになっている。

また、オーディエンスエンゲージメントソリューションである Slido を利用した投票、クイズ、Q&A 機能なども提供される。これは既に会議では提供されている機能だが、まもなく、エンドツーエンドのイベントでも提供することになっている。

一方、音声、映像の品質の面でも改善が行われている。音声面では、これまで Webex で提供されてきたノイズ除去やスピーチエンハンスメントを改善した形でシスコは「My Voice Only」を発表した。My Voice Only で会議で話しをしている人の声のみを相手側に届ける仕組み。発言者の周りで聞こえている他の人の声や音などを効果的にカットする。この機能は 2021 年夏にワールドワイドで提供開始する予定。

映像面では、今年初めに発表された「People Focus」が Webex Suite で提供される。People Focus は、機械学習と AI 技術を使い、より自然にボディーランゲージや表情がよく伝わるように、会議室の参加者数に応じてカメラが自動でフレーミングを行う。

一方、オフィスでも在宅勤務の両方に最適化されたオールインワンコラボレーションデバイスである「Webex Desk」も提供する。「RoomOS」によるタッチスクリーン機能や「Webex Assistant Skills」により音声を利用したコントロールなど拡張機能を提供している。

その他、機密情報を自動的にブロックおよび削除する Webex のリアルタイムのデータ損失防止がメッセージングで利用可能になった。また、今回、エンドツーエンドの暗号化機能も強化されている。会社によると、ユーザは使いやすさとセキュリティのどちらかを選択する必要はなく、両方を手に入れることができるとしている。

なお、昨年の9月以降、会社からは800を超える新機能やデバイスが発表されているという。今回の発表は Webex イノベーションをさらに加速させる発表という位置づけのようだ。

## ビジネス動向-国内

### ■スペースマーケット：スペースマーケットとテレキューブサービスが業務提携

(6月16日)

株式会社スペースマーケット (<https://www.spacemarket.com/>) (東京都渋谷区) は個室型ワークブース「テレキューブ」を提供するテレキューブサービス株式会社 (<https://telecube.jp/>) (東京都千代田区) と業務提携をしたことを発表。

スペースマーケットは、掲載数1万5,000件を超える日本最大のスペース時間貸しプラットフォームを運営しており、2020年8月よりワークスペースに特化した「スペースマーケット WORK」を提供している。一方、テレキューブサービスは、オフィスビル共用部や鉄道駅、商業施設に個室型ワークブースであるテレキューブの設置を展開しており、外出先や移動時間でもいつでもどこでも働ける環境を整備している。

今回の業務提携で、スペースマーケットとテレキューブをAPI連携させることで、全国約100カ所170台設置されたテレキューブをスペースマーケット上で予約・決済でき、利用当日のテレキューブの解錠についても、スペースマーケット上で一貫して行うこ

とが可能となっている。

スペースマーケットとしては、今後も働くシーンに特化した多様なワークスペースの提供を通じて、多様な働き方の実現を支援していくとしている。

## 導入利用動向-国内

### ■テレキューブ：全国初の試みとなる特定共同住宅共用部分への可動式ブース「テレキューブ」を設置

(6月15日)

テレキューブ株式会社 (<https://telecube.jp/>) (東京都千代田区) は、横浜市内にある特定共同住宅「ライオンズマンション横濱元町キャナリシア」(2005年築)の共用部分に、可動式ブース「テレキューブ」を設置したと発表。



共用部分のテレキューブ設置の様子 (ブイキューブ)

これまでに新築物件の共用部分に住居者専用テレキューブを設置する動きはあったが、特定共同住宅の共用部分への後付けでの設置は初めての取り組みとなる。住環境のニューノーマル対応に貢献するという。

また、同マンション専用の予約管理・決済システムも提供し、これにより会員登録しているマンション住居者は、マンション内だけでなく、国内97カ所の公共空間に設置しているテレキューブの利用も可能となる。

特定共同住宅共用部分へのテレキューブ設置に対するニーズはあらゆる物件にあると同社では考えておりマンション管理会社と連携しながら、同様の取り組み

を拡充するため、新たなパートナーを募集していくという。パートナーに関する問い合わせ先は、[tci\\_support@telecube.co.jp](mailto:tci_support@telecube.co.jp)まで。

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■オフィスに戻ったらどうなる？

ZOOM ROOMS ・ロジクールでつくるハイブリッドワーク時代の新しい会議スペース

日時：7月7日（水）14:00～14:45

会場：オンライン

主催：株式会社ロジクール・ZVC Japan 株式会社 (Zoom)

詳細・申込：<https://info.logitech.com/0721-Logicool-zoom-webinar.html>

#### ■【プライベートウェビナー】【ヤマハ】マイクスピーカー「YVC-1000」まるわかり活用術

日時：7月8日（木）16:00～16:45

会場：オンライン

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/2107vtv/>

#### ■ポストコロナ時代の「Web 会議あるある」を解決に導くコツ

時間：7月8日（木）15:00～16:00

会場：オンライン

主催：シネックスジャパン株式会社

共催：ソースネクスト株式会社

詳細・申込：<https://www.synnex.co.jp/event/0708/>

#### ■<初コラボ！Zoom × V-CUBE 共催ウェビナー>

Web 会議のパイオニア 2 社が語る！これからのコミュニケーション環境のあり方とは

日時：7月27日（火）13:00～14:00

会場：オンライン

主催：株式会社ブイキューブ、ZVC Japan 株式会社

詳細・申込：[https://www.zoom.style/form-webinar-md01-zoom\\_vcube\\_20210727.html](https://www.zoom.style/form-webinar-md01-zoom_vcube_20210727.html)

#### ■ブイキューブセミナー（7月）

「Web 会議ツール使い分けの極意！」「開発者向けセミナー ビデオ通話・ライブ配信 SDK を学ぼう」「今さら聞けない Zoom ミーティングとは？」など

会場：オンラインセミナー／オンディマンドもあり

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

#### ■Webex Meetings 関連ウェビナー（7月～8月）

「Webex Events のご紹介」「Webex Meetings 概要と新機能」「Webex アプリケーション (旧 Webex Teams) の基本：新機能とロードマップ」など

（録画も視聴できます）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：

[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

#### ■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト（dtt-forum）

<http://cnar.jp/cna/dttforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は  
下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

**CNAレポート・ジャパン 2021年6月30日号おわり**

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)